

わかやま こども市報

令和2年12月1日発行 No.194

編集・発行 和歌山市 広報広聴課

〒640-8511 和歌山市七番丁23 TEL 435-1009



ケン(ペッタン)

メンコともいいます。床などにたたきつけ、風圧で相手のケンをひっくりかえして遊びます。100年ほど前に紙メンコが作られたときは、円形でしたが、その後四角いものが作られました。



ベーゴマ(バイ)

鉄でできたコマ。ひもを巻いて回します。回ったコマ同士をぶつけて、弾き飛ばされると負け。昔はバイという貝を切ってコマにしており、ベーゴマという名前はバイコマからつけられました。



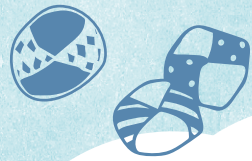
日光写真

ガラスのついた箱にフィルムと感光紙(光に当たると色が変わる紙)を入れ、太陽の光にあてると、フィルムの絵が感光紙にうつります。



お手玉

小袋に小豆などを入れ、歌いながら投げ上げ遊びます。1つを投げ上げている間に床から別のお手玉を取ったりもします。



みんな知っているかな?

昔の遊びやおもちゃ

みんなは遊びやおもちゃといえば何を思い浮かべますか? ゲーム? スマホ? では、そのようなものがなかった時代は何をして遊んでいたのでしょうか?

今回は昔の遊びやおもちゃを紹介します。昔の遊びやおもちゃはとも素朴だけれども、やってみると難しいものも。お友達や家族と一緒にぜひチャレンジしてみてください!



竹とんぼ

軸を手のひらでこすり合わせ回すと、ふわっと空中に浮いて飛びます。20秒間飛ぶものもあるそうです。



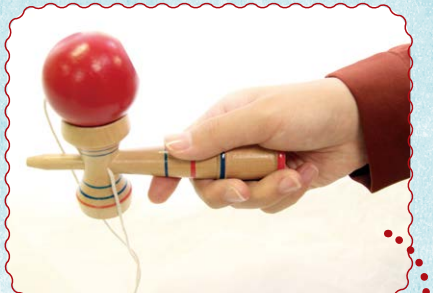
だるま落とし

木の輪を積み上げた上にだるまが置いてあり、木づちなどで、だるまが落ちないように注意して、木の輪だけを横に払う遊び。うまくできると木の輪だけがすぽっと抜け、だるまは一段下がって木の輪に乗っかります。



こま

軸を中心に回転させて遊びます。指でひねったり、両手で回したり、紐を使ったり、さまざまな回し方があります。どんぐりにつまようじを刺すだけでもこまになります!



羽子板

羽子板を使った羽根つきは古くから正月の遊びとして親しまれてきました。2人で遊ぶときは羽根を落とした方が負けで、罰として顔に墨を塗ることもあります。



けん玉

江戸時代に中国から伝わり、明治時代ごろから子供のおもちゃになったと言われています。穴のあいた玉を棒でさしたり、大皿に乗せたりして遊びます。今では世界各国で遊ばれていて、スポーツとしても行われています。

竹うま

竹に横の板を縛りつけたものを2本作ります。竹を握って横の板に足を乗せ、右・左と交互に歩く遊び。いつ頃作られたものかははっきりしませんが、室町時代には子供たちが遊んでいたようです。



あやとり

平安時代ごろから行われてきたひもを使った遊び。1人が最初の形をつくり、それをもう1人が両手の指にかけて取り、川や橋、船などさまざまな形を作ります。1人で遊ぶあやとりもあります。

